

令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	広島県立中央森林公園（公園センター等地區）		
所在地	三原市本郷町上北方 1315		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び福祉に資する。		
施設・設備	三景園，駐車場，バーベキュー広場，運動広場，サイクリングロード，研修室等		
指定管理者	4期目	H31.4.1～R6.3.31	（一財）中央森林公園協会
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	（一財）中央森林公園協会
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	（一財）中央森林公園協会
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	（財）中央森林公園協会

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
		4期	R1	267,000人	257,700人	△ 5,820人
	3期平均 H26～H30		250,000人	263,520人	25,260人	13,520人(105.4%)
	2期平均 H21～H25		255,800人	238,260人	△ 7,807人	△17,540人(93.1%)
	1期平均 H18～H20		—	246,067人	26,567人	—
	H17（導入前）		—	219,500人	—	—
増減理由	三景園で花まつり（6月）やもみじまつり（11月）等のイベントを実施したが、アジサイの開花時期やもみじの紅葉の遅れなどにより利用者が減少し、目標を達成することができなかった。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	三景園の来園者（33件）
	【主な意見】	【その対応状況】
	庭園内の土砂崩れによる園路の復旧及び段差を解消して欲しい。	三景園内の園路復旧を県が担い、段差解消修繕を指定管理者が同時に実施することにより、令和元年9月に完了した。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務実績報告書
	日報（必要随時）	—	
管理運営会議 （5月・現地）	【特記事項等】 ・広島空港周辺施設との連携を図る。 【指定管理者の意見】 ・レンタサイクル等によりサイクリングロードを走行途中で他の施設へ行き来できるようにするなど、空港周辺施設との連携を進めたい。 【県の対応】 ・今後、空港周辺施設関係者と調整を進めていくとともに、県としても連携に協力する。		
現地調査（9月）			

5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	金額		対前年度増減	年度	金額		対前年度増減		
	4期	R1			4期	R1			
県委託料 (決算額)	4期	R1	53,258	2,343	料金収入 (決算額)	4期	R1	45,998	1,640
	3期平均 H26～H30		50,915	1,415		3期平均 H26～H30		44,358	5,035
	2期平均 H21～H25		49,500	4,880		2期平均 H21～H25		39,323	△3,013
	1期平均 H18～H20		44,620	△22,750		1期平均 H18～H20		42,336	12,749
	H17 (導入前)		67,370	—		H17 (導入前)		29,587	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	53,258	50,915	2,343	消費税率増による増
		料金収入 (※1)	45,998	42,245	3,753	サイクリングロード及びパーバキュー広場の利用増による増
		その他収入	57,062	54,219	2,843	喫茶等の売上増による増
		計(A)	156,318	147,379	8,939	
	支出	人件費	58,122	58,057	65	
		光熱水費	9,118	10,396	△1,278	経費節減 (LED化等) による減
		設備等保守点検費	24,271	21,572	2,699	運動広場の芝補修による増
		清掃・警備費等	3,993	2,817	1,176	園路改修等による増
		施設維持修繕費				
		事務局費	3,924	5,836	△1,912	危険木等除去作業の終了に伴う高所作業車リース代の減
その他		50,927	46,996	3,931	電動アシスト自転車 (子乗せタイプ) の導入及び、研修室の備品の交換等による増	
計(B)	150,355	145,674	4,681			
	収支①(A-B)	5,963	1,705	4,258		
自主事業 (※2)	収入(C)		—			
	支出(D)		—			
	収支②(C-D)		—			
合計収支(①+②)		5,963	1,705	4,258		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を發揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	三景園, バーベキュー広場及びサイクリングロード等の通常利用に加え, 利用者ニーズ等を踏まえた各種イベントを開催し, 各施設の利用増進を図った。	利用者ニーズを踏まえ, 各種イベントの開催等, 適切に業務運営を行っている。
	○業務の実施による, 県民サービスの向上	ペットとともに来園できるよう, ドックランを導入し, 利用環境の向上に取り組んだ。	県民サービスの向上に向け, 更なる利用者の呼び込みに向け努力している。
	○業務の実施による, 施設の利用促進	利用者ニーズにより新たに子供向けのイベントを追加し, 地元の小学校に行事案内を配布した。	新たなイベントを展開するとともに, 営業活動を積極的に実施しており評価できる。
	○施設の維持管理	利用環境の向上のため, 運動広場の芝補修や研修室の老朽化した机や椅子の更新を行った。	安全で快適な利用環境の提供に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し		
	○効率的な業務運営	サイクリングロード等の落葉除去作業の効率化のため, エンジブローワーを導入した。	効率的な業務運営の取組自体は評価できるが, 施設管理レベルの低下につながるよう, 適切に業務を行う必要がある。
	○収支の適正	利用者数は目標に達しなかったものの, 収支の適正化に努め, 収支は黒字を計上した。	業務の見直しを適宜行うことにより, 収支の適正化に努めている。
総括		新たなイベントの取組など実施したことや営業活動の強化を行ったが, 利用者数は目標を達成することはできなかった。 今後, 更なる利用促進に向けた取組の強化を図り, 引き続き, 収支の黒字化を図る。	近年利用者が減少傾向にあることから, イベントの開催時期を含めた利用者ニーズの調査・分析を行い, より効果的なサービスの提供に取り組む必要がある。

8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和2年度)	利用者ニーズを踏まえ, 引き続き, 公園全体の利用促進のため, 集客力の強化を図る。	安定的な利用者確保のため, さらなる改善に努める必要があり, より効果的なサービスの提供ができるよう支援する。
中期的な対応	利用者増となるよう, 空港周辺の周遊性も含めた, 三景園や公園センターの魅力向上とともに, 施設の更なる利用環境の改善を図る。	施設ごとに利用者ニーズを把握し, 空港周辺施設を含めた, 利用促進策について, 必要な支援を行う。